

マルキタ・リスター
ソプラノ
プロフィール

ワシントン生まれのソプラノ、マルキタ・リスターは表現力に富み激しい演技やさまざまな役をこなせる能力によって観客を感動させる。世界中の評論家がこの一流のアーティストの要点をつかんだ、精密で聡明なテクニック、彼女の素晴らしい声、そして限界を超える勇気や決意を賛美する。

マルキタ・リスターはボストンのニューイングランド音楽院で勉強し、多くの声楽コンクールで受賞した。彼女はその才能で有名なヒューストン・グランド・オペラ・スタジオの正式メンバーになり、2年間活躍し、その間に例えば コシ・ファン・トゥッテのフィオルディリージ、カルメンのミカエラの役を歌い、ミレッラ・プレーニやプラシド・ドミンゴも出演した（テレビに放映された）Wortham Theatre Center のオープニング演目でアイダの巫女の長を演じた。

ニューヨーク・シティー・オペラで行われた、人気のある演目ポーギーとベスでマルキタ・リスターはベスを説得力のある表現で歌い、「NYCO Diva Award 2002」を受賞した。

その他、彼女のキャリアの始め頃の重要な節目として、サンフランシスコで公演されたティートの慈悲のヴィテツリア役やメキシコ・シティーで公演されたアイダが述べられる。国際的に認められるまで、長くはかからなかった。彼女は最初にモントリオール、そしてその後にドレスデンに出演した。続いて、ポートランドでフォード夫人アリーチェ（ファルスタッフ）、オースティンでサロメ、ボルチモアでリュウ（トゥーランドット）、バンクーバーでトスカの役を、オペラ・パシフィックでネッダ（道化師）を演じた。ベス役でアメリカ、日本、パリのバステュー・オペラやミラノのスカラ座を公演ツアーした。

アリーナ・ディ・ヴェローナで彼女がネッダ（道化師）やムゼッタ（ボエーム）の役を演じ、彼女の国際的な評価は決定的なものとなった。ピッツバーグ・オペラの「Artist of the Year Award」を授与し、彼女はベルリン・ドイツ・オペラの監督・総監督ゲッツ・フリードリヒに呼ばれて彼のポーギーとベスの演出のためにテアター・デス・ヴェステン（西の劇場）やのちにブレゲンツ音楽祭に出演した。成功の他の大きなハイライトとしてベルリン・ドイツ・オペラやザルツブルグ祝祭大劇場で歌ったアイダ役を始め、プラシド・ドミンゴ（ヒューストン・グランド・オペラ・スタジオ）、フステイーノ・ディアス（ジョンズタウン交響楽団コンサート）やサイモン・エステス（複数の公演）と一緒に出演したことが挙げられる。

2002年から2004年の間のシーズンにマルキタ・リスターはシュトゥットガルト国立歌劇場でミミ（ボエーム）、エリザベッタ・ディ・ヴァロア（ドン・カルロ）やトスカの役を演じ、ドレスデン・ゼンパー歌劇場でサロメやアメリア（仮面舞踏会）の役をつとめ、エッセン・アアルト・オペラでアイダやサントウツァ（カヴァレリア・ルスティカーナ）を歌った。

2004/2005年シーズンのハイライトの中でグラーツ歌劇場のトスカ、ボローニャとラヴェンナのポーギーとベス、オーランド・オペラのアイダやシュトゥットガルト市立劇場のサロメが際立つ。

2005/2006年シーズンはドレスデン・ゼンパー歌劇場での大成功から始まった。ここでマルキタ・リスターは初めてマクベスを歌い、新聞では「声と体格が理想的にキャストされている夫人」（フランク・ピオンテク）として賛美された。今後の数ヶ月間にもベスとしてアトランタ・オペラ（11月）、サロメ（11月と12月：ドレスデ

ン・ゼンパー歌劇場；6月：ミシガン歌劇場）、マクベス夫人（2月と7月：ドレスデン・ゼンパー歌劇場）、そしてシチリアの夕べの祈りのエレナとしてブエノスアイレスのコロン劇場（5月）で彼女を見ることができる。

マルキタ・リスターは多くのテレビ演目に出演した：例えばボストン・ポップス、ダラス交響劇団、PBS や「Live from Lincoln Center」の生放送。その他、彼女は Telarc レコードのためにエリック・カンゼルの指導によりシンシナティ・ポップスと一緒にジョージ・ガーシュインの *Blue Monday* やポーギーとベスの部分を歌い、Albany レコードのCDではエドワード・ナイトの *Where the sunset bleeds* を歌った。

2006年2月/3月に彼女は Naxos のためにガーシュインのポーギーとベスを録音する予定。

マルキタ・リスター オペラ・レパートリー

マルキタ・リスターのレパートリーはヴェルディ、プッチーニ、シュトラウスのオペラを含む。彼女は叙情的、劇的、またはヴェリズモの分野を確かなテクニックと繊細なフィーリングで解釈する。評論家達はガーシュインのポーギーとベスの彼女のベス役を今までの最高のベスとして称賛した。

Aïda – Utah Opera © Doug McEwan

Elisabeth – Portland Opera © Duane Morris

Tosca – Oper Graz

- G・ガーシュイン ポーギーとベス（ベス）
- R・レオンガヴァルロ 道化師（ネッダ）
- P・マスカーニ カヴァレリア・ルスティカーナ（サンテウツァ）
- G・プッチーニ ボエーム（ミミ）
- G・プッチーニ ボエーム（ムゼッタ）
- G・プッチーニ 西部の娘（ミニー）
- G・プッチーニ マノン・レスコー
- G・プッチーニ トスカ
- G・ヴェルディ アイダ
- G・ヴェルディ ドン・カルロ（エリザベッタ・ディ・ヴァロア）
- G・ヴェルディ エルナーニ（エルヴィラ）
- G・ヴェルディ シチリアの夕べの祈り（エレナ）
- G・ヴェルディ 運命の力
- G・ヴェルディ マクベス（夫人）
- G・ヴェルディ トロヴァトーレ（レオノーラ）
- G・ヴェルディ 仮面舞踏会（アメリカ）
- R・シュトラウス サロメ

PR とマーケティング (ヨーロッパ)	エージェント
Studio Mafara Artist Marketing information – marketing – branding Kirchengasse 19/14 – A-1070 Vienna Austria Tel./Fax: +43 (1) 4782649 Mobile: +43 (676) 3415377 Mail: office@mafara.com	Internationale Künstleragentur James Dietsch Thierschstrasse 11 – D-80538 Munich Germany Tel: +49-89-3408-6300 Fax : +49-89-3408-6310 Mail : jwdietsch@t-online.de

